

## 健康づくりグループ活動記録(9月20日)

### 【開催日】

令和5年9月20日(水)

【出席者】岡部、吉井、鹿倉、隅原、中野

### 【ミーティング】

- ・「あじなの丘」用のデータ消失
- ・「あじなの丘」用の活動内容のまとめのデータが消失した
- ・再作成のため写真データを中野が代表に送る
- ・大学祭
- ・コーヒーメーカーで淹れたコーヒーを試飲した
- ・自家焙煎のものと市販のもので飲み比べた
- ・飲み比べれば自家焙煎の方が香りとマイルド感があるようだが明らかにわかるような違いはない
- ・ミル付きのコーヒーメーカーも保温ポットもある(水馬先生)
- ・コップはカップホルダーに合うサイズの200mlぐらいのものとする
- ・一部ミルを使うかなど次回に詳細を決定する
- ・演奏者の更衣室を確保していただく
- ・学園祭のポスターを市民センターと町内の掲示板に貼らせてもらう
- ・レコード喫茶のポスターを作成する

### 【園芸】

- ・草刈り
- ・ミニトマト、ゴーヤの収穫
- ・畑づくり

### 【フィットネス】

- ・ラジオ体操



- ・介護予防ラジオ体操

### 昭和20年8月15日の事

吉井智治

この日は日曜日でした。私は夜勤明けで、未だ頭がボウーとしていました。そこに親友Sがやって来て、「戦争がすんだぞ!」と言っただけで、あたふたと帰って行きました。

戦争はもう終わらんかのうと頭の中では思った事があります。しかし、今の戦況では、日本に勝ち目が無い。日本は神国であり、外国と戦って負けた事はありません。でも引き分けのような形で、干戈を交えることを止められないものかと、感じる様になりました。

その翌日の新聞には、玉音放送があった事が大きく報じられていました。

親友Sの実家はハワイ帰りの経歴があり、後で分った事ですが、真空管式のラジオがあったのでした。

私共の小学校時代は、尋常小学校を6年で終了すると、入試を受けて中学校へ入る事ができました。ところが、大戦末期には学徒動員令が發布され、三学年以上の生徒は、勤労働員で工場働く様になっていきました。

更に1,2学年の生徒は田植、稲刈等の農作業に従事させられました。ですから1,2学年の生徒は農繁期には勉強は中止になります。

中学校には一般の教員の外に、配属将校と下士官との軍人数名が配属されていました。

校舎の中で、最も大きい建築物は講堂ですが、それと棟続きの施設として武器庫がありました。武器庫には、38式歩兵銃が数百丁銃架にかけられていました。

教科目に軍事教練があって、配属将校と下士官が指導に当たります。教練は全校生徒の必須科目です。

その軍事教練は三学年生以上が銃を担いで行きます。従って銃は600丁がありました。

即ち3×4(組)×50(人)=600(丁)です。

外には音楽隊(20名位だったか?)もありました。(生徒の演奏)

尚、1,2学年の生徒は教練の際に木銃を用いました。木質はケヤキだったのか、軽からず重すぎない重量で、長さは着剣した場合のサイズに造ってありました。

さて、敗戦で学校の教育はどんなに変ったのでしょうか。

民主主義と言う聞いた事もない考え方が導入されました。軍事教練は無くなったのは当然としても、クラス活動が充実し、特に野球部は盛んになりました。

教育の質も変ってゆきますが、それはこれからの事です。

以上